

**内閣総理大臣杯争奪
第41回日本車椅子バスケットボール選手権大会
個人トータル表**

2013年5月5日 10時45分開始

3位決定戦

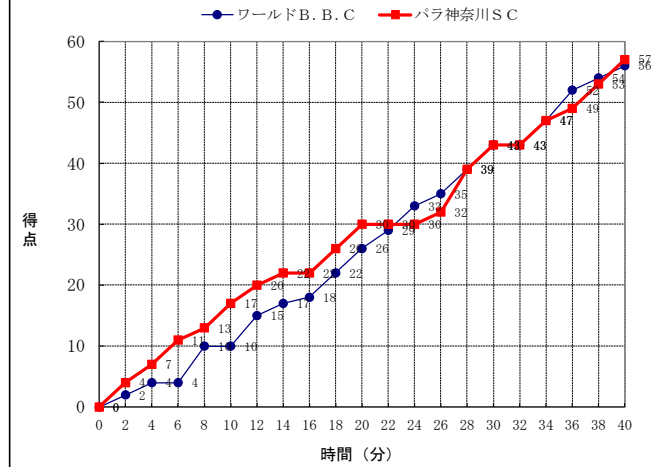
東京体育館 M - 7

ワールドB. B. C (東海北陸)	56	10 1クォーター 16 2クォーター 17 3クォーター 13 4クォーター	57	◎ パラ神奈川S C (関東)
-----------------------	----	--	----	-----------------------

番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
4	吉原 大貴 (2.5)	-	-	-	-	-	-	-	6	小嶋 謙 (1.0)	0	0	0	0	-	-	4
5	加藤 和徳 (3.0)	2	0	1	0	-	-	0	* 7	矢守 睦 (1.5)	2	0	1	0	-	-	0
* 6	神谷 泰範 (2.0)	8	0	4	0	-	-	3	* 8	園田 康典 (3.5)	8	0	4	0	-	-	3
7	竹内 厚志 (3.0)	4	0	2	0	-	-	4	9	齋藤 尚徳 (4.5)	-	-	-	-	-	-	-
8	長谷川 康之 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-	* 10	高橋 直哉 (4.0)	18	0	7	4	-	-	3
* 9	竹中 久雄 (2.0)	6	0	3	0	-	-	3	11	土屋 武司 (4.0)	7	0	3	1	-	-	2
10	加藤 直生 (1.5)	6	0	3	0	-	-	0	12	中嶋 泰生 (1.5)	-	-	-	-	-	-	-
11	早稲田 正浩 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-	* 13	神保 康広 (3.0)	4	0	2	0	-	-	0
* 12	富永 文明 (3.5)	20	0	9	2	-	-	2	14	田久保 敏光 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-
* 14	杉浦 寿信 (1.0)	2	0	1	0	-	-	0	* 15	石川 丈則 (1.5)	18	0	9	0	-	-	1
15	大島 朋彦 (4.0)	8	0	3	2	-	-	3									
16	辰巳 晃一 (3.5)	-	-	-	-	-	-	-									
18	安藤 洋幸 (1.0)	-	-	-	-	-	-	-									
19	児玉 真也 (2.0)	-	-	-	-	-	-	-									
HC	杉浦 寿信								HC	金子 幸広							
AC	小川 智樹								AC	西川 広実							
マネージャー	寺島 悦子								マネージャー	齋藤 美佳							
マネージャー	小崎 祐美子								マネージャー	森井 友衣							
マネージャー	前田 麻美								マネージャー	黒川 風里							
合計		56	0	26	4	0	0	15	合計		57	0	26	5	0	0	13

主審： 増竹 昇
副審： 岸 良太郎
副審： 平田 貴浩

得点経過



[戦 評]

(担当：小林/筑井/町村)

1 Q：ワールドのボールで開始。神奈川No.1 3の先制点。直後にワールドNo.1 2が得点。ワールドのミスが目立つ。残り6分半、ワールドNo.6がアンスポにより、神奈川No.1 0のフリースローとその後の神奈川No.7のミドルで立て続けに得点。これにより流れが神奈川に傾き、神奈川のNo.1 3やNo.1 5を中心にゲームが展開されていく。ワールドもNo.1 2を中心にゲームを進めていくが、神奈川がリードしたまま1 0-1 7で1 Qを終えた。

2 Q：開始直後にワールドNo.1 4が得点。それに続きワールドNo.6も得点。ここで神奈川がタイムアウトを取り、流れを止める。その後ワールドNo.1 2がフリースローを決めるも、すかさず神奈川もシュートを決めなかなか譲らない。ワールドNo.7が四つ目のファールを取られワールドNo.9と交代し、同時に神奈川のNo.6とNo.1 1も交代でコートに入った。その後も一進一退の攻防が続く。ワールドも点差を縮めたが、神奈川リードのまま2 6-3 0で前半を終えた。

3 Q：ワールドはメンバーを少し変えてスタート。ワールドのNo.1 5がフリースローを決め、更にワールドNo.1 0もシュートを決める。そして、ワールドNo.1 2のカットインでワールドが逆転、更にワールドNo.1 0のカットインで3点差になり、流れがワールドに傾き始めた。3 Q終盤、双方のチームのミドルの確率が上がり始め神奈川はNo.8やNo.1 0を、ワールドはNo.1 2を中心に得点を重ねていく。どちらも譲らず同点の4 3-4 3で3 Qを終えた。

4 Q：開始3分まで双方とも得点を上げられない状態が続いたが、神奈川No.1 0のバスケットカウントで神奈川が逆転。すかさずワールドも追いつき、点の取り合いが続く。残り4 6秒、ワールドNo.1 5の逆転ゴールにより神奈川のタイムアウト。その後神奈川のシュートミスによりワールドのオフエンス。残り2 0秒、5 6-5 5。ワールドは逃げ切りのためにボールを回し始める。残り6. 8秒、たまたま神奈川No.6がファール、神奈川がタイムアウトを取る。ワールドのフリースローになるが1本目を外す。2本目も外れる。既に速攻体制になっていた神奈川はリバウンドからバスを繋ぎ、残り2秒、No.1 0からのバスでNo.1 5のゴールと同時に試合終了。5 6-5 7で神奈川に軍配が上がった。